



(2009) 10月

'09-12月 11月 10月 9月 8月 7月 6月 5月 4月 3月 2月 1月

[ご意見やご要望はこちらのメールで](#)









[Home](#)




[Back](#)

10/31	土	☀️	<ul style="list-style-type: none"> ●コーラスの練習 ●太陽光発電の問題で、新築住宅に太陽光発電をつけると固定資産税が高くなるのでもう少し設置費が安くなるまで税金面で配慮して欲しいというご意見を伺いました。既存住宅であとから太陽光パネルをつけたいと思っても南側に屋根があるところばかりではないので都市計画で考えて欲しい。 ●王寺金田議員と赤旗のお勧め。残念ながら増えませんがいろいろな語意見を聞かせていただきました。 ●河合診療所健康祭り。うたう会で長崎の鐘を歌ってきました。 ●子どもがあっても入籍手続きせずにいる場合は寡婦控除が受けられないという矛盾があることがわかりました。 ●赤旗の集金 ●石垣憲弥さんを偲ぶ会にメッセージを送っておきました。 ●1日ホームページ原稿 		
10/30	金	☀️	<ul style="list-style-type: none"> ●母の手続き、銀行口座など死亡の届けをする事で閉鎖になり、そのあとは本籍や関係が確認できる書類など結構手間がかかります。身寄りのない人などどうしているのでしょうか。 ●天理王寺線問題 ●病院問題 ●アスベストの問題 ●生活福祉資金の問題 ●八尾議員と赤旗のお勧め日曜版が2部増えました。 ●平城遷都1300年問題で野鳥の会の方から、ツバメの営巣があり、国鳥のキジもいるので、夜間の音や光など行わずに当時の灯り、イグサの灯芯なたね油などを炊くで静かな時間をと提案を頂きました。初めて知ったのですが月は毎年3センチずつ遠ざかっているとの事、1300年前の月は、3.9キロ地球に近かったということです。想像するだけでも楽しくなります。 		
10/29	木	☀️	<ul style="list-style-type: none"> ●上牧町石丸典子議員と地域を訪問赤旗日曜版2部拡大。ボランティアをされている方は、年金が65歳からしか支給されなくなったので退職して地域活動と思っけていても奥さんから稼げといわれる、職場では部下に使われることになる、地域のボランティアは高齢化してきている。と切実な声を聞かせていただきました。 ●西和養護学校を訪問、生徒数が急増している問題を決算委員会で取り上げましたが現場の声を聞く機会がなかったのでお話を伺いました。154名から始まったのが208名に、来年は20名くらいふえることが予測される教室がない。特別教室の転用も考えないといけない、バスも9月から1台増えたが又いっぱいになってしまう、給食も炊飯器を大きくしないと対応できない、とのこと。高等部中学校で生徒が増えているようです。これは奈良の西部養護も同じ。生徒が別れた二階堂養護学校も増えているとの事。校長先生は「これまで普通学級で受け入れてきていた障がいの子もが、回りの子どもたち自身が受け容れこんだになっていることも考えられるのでは」と私見ですがといわれていました。又就職も困難で奈良県には特例子会社がないという話もされました。ちょうど長崎県のプリマールケを視察してきたところだったのでそんな話もさせていただきました。 ●石丸典子議員が町に何か要望はときいたら出口がカーブで危ないので信号機を要望しているとの事でした。 ●午後から、河合の道路問題で地元の方々のご意見を聞かせていただきました。道路をつくることで水害の発生を心配されていました。又地元では具体的な代替案も検討されていました。県の説明は大字の役員さんにだけ行われていますが同じ問題を一堂に集めて説明することが必要ではないかと感じました。 ●広陵町新聞のお勧め赤旗日曜版4部拡大 靴下製造業のところでは仕事なくても電気契約が大きいので基本料だけでも2万円もかかり近くの方はやめてしまったということです。後期高齢者医療の怒りが大きいことを改めて実感。 ●中南地区常任会議 		
10/28	水	☀️	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本市立動物愛護センターを視察。ゼロエミッションをめざすとろくみでOに近い成果が出ています。獣医の所長は動物が好きでこの仕事をしているのに処分することは良くないとの思いで職員が一丸となって取り組んだとのこと施設は昭和58年のもので古医なのですが人が支えていることを実感しました。これまでは捨て犬や捨て猫は集団で檻に入れて引取りがないとだんだんガス室に近い檻に移されていくということでしたが、それでは出血があってもどの犬は出血しているのかもわからないとの事で世話をする職員さんから個別管理にとの提案があり1匹筒ロープでつないでその犬の健康管理正確なども把握して引き取ってもらいやすいようにしています。又引き渡す時はよくレクチャーを受け動物愛護団体の映画なども見てもらい命の尊さを理解して渡しているとの事。また簡単に受け容れるのではなく買主の責任を果たしてもらうことや、噛みつかれて飼えないなどの場合はどんな状態で噛み付いたのかなど詳しく聞いてしつをする専門家に指導してもらえるようにするなどきめ細やかな取り組みです。 ●生活相談 生活福祉資金について北民商との懇談会 	  	
10/27	火	☀️	<ul style="list-style-type: none"> ●朝出発前に市電に乗って出島に行ってきた。長崎の歴史を感じさせる場所です。県庁にて長崎県の離島を抱えた医療ネットワークについてレクチャーを受けました。過疎地を抱えている奈良県とよく似ていて参考になることがたくさんありました。 ●特に長崎県病院企業団は県立病院と離島地域の病院をひとつの経営体として企業団の職員として人事交流をしたり老朽化している施設を市町村と県が一緒になって建て替えるなども取り組んで 		

			<p>います。これが出来たのはその前から一部事務組合で離島の医療が運営させていた所に県が合流したのでそんなに混乱はなかったという事でした。</p> <p>●医師確保対策、救急搬送波県がドクターヘリを導入して救命に大きな成果が出ています。午後からは離島へ機知支援センターがある国立行政法人長崎医療センターを視察。院長以下関係者の方が詳しく説明してくれました。350億円で新病院を建設したとたん国立病院から離れて同率行政法人になったため最初から莫大な借金を抱えてスタートしたそうです。拠点病院で25の診療科をもち行っていますが。紹介が多く又それを地域の逆紹介で返すなど地域医療連携科の役割は大きいとの事でした。</p>	
10/26	月	☀️	<p>●厚生委員会の県外視察長崎の障害者を雇用している企業を視察しました。プリマハムの関連企業プリマルーケに伺いました。52人の従業員のうち17名の障害のある人が働いています。賃金は最低賃金を基本に評価賃金がプラスされます。施設も車椅子の人に合わせて電機のスイッチや自動販売機など低いところで出来るように工夫がされていました。ここは長く働いている人が多く人間関係もうまくいっているそうです。一人やめた人は島原鉄道が廃止され通勤手段がなくなってやむなく退職されたとか。長崎県は障害者の施設が多く県の呼びかけでこのような場所が出来たそうです。グループ企業のため個々での不採算があっても全体でカバーでき全体の障害者雇用率をこの工場があることで達成でき総合的に見てバランスが取れているようです。</p>	
10/25	日	☀️	<p>●母の身の回り品の片付け</p> <p>●知人から着物を頂きました。大柄の方の着なくなった着物をもらったのでいうことで声をかけていただきました。その家に伺うと3人の方が来てくれていてあれがいいこれがいいと着物談義が始まりました。着物にはなんだか幸せな気持ちにさせる不思議な力があるようです。それにしてもこんなに素敵なものをたすの奥にしまっているのはもったいない気がします。色や柄組み合わせなど洋服の文化では培えない独特の感性が養われるような気がします。頂いたのをきっかけに頑張って着物に挑戦してみようかな。あとのお茶会までついた楽しいひと時でした。</p> <p>●次女の一家が来て焼肉パーティー。ハナちゃんが片言で話すようになってかわいい盛りです。</p>	
ページトップへ				
10/24	土	☀️	<p>●母の部屋の片付け。手芸がすきで買い込んだ手芸の材料をお世話になったデイケアに届け、スタッフにご挨拶。</p> <p>●全国革新懇第9回職場地域青年交流集会に参加、今日から正倉院展も開催されるので車をやめて電車で行って来ました。奈良県文化会館の大ホールは満席の人人、各地で草の根の運動をされてきた人たちの自分たちが自公政権を退場させる力になったという強い確信を感じました。杉並の代表は、青年の名代できたといながら、地域で青年との信頼で結ばれていること、青年が思い切ったことをやる影で後ろから暖かくバックアップしている姿など青年を支えていくヒントのようなものを教えていただきました。「ええこっちゃ」という地域の取り組みを紹介したのは長尾元東大阪市長、地域おこし町おこしを食文化や歴史祭りなどを取り組んでいるとのこと。とても楽しそうでこんな活動なら面白そうだと思います。</p> <p>●志位さんの報告では、民主党政権の下で国民の期待と不安と探求が始まっていること。後期高齢者の廃止の先送りなど国民の運動で廃止をと訴えました。カザフスタンでのアジア政党会議は日本からは日本共産党だけで、いつのまにか日本の代表になっていたとの事、又核兵器の廃絶では最終のまとめに「究極目的」と記載され最後の意見を求められたときに緒方議員が登壇して「究極」を取ることを訴え、最終文書には核廃絶を具体的に進めていくことが書かれたそうです。</p> <p>●革新懇を私たちの地域でもつくって行きたいと思いました。</p>	
10/23	金	☀️	<p>●決算委員会のまとめ文章点検。先日の台風による大淀町の地すべり災害が国の災害復旧支援に認められたとの事</p> <p>●地元に来たバースセンターに娘の受診で行って来ました。つわりがきついのは中から生きてますよとメッセージを送っているからという助産師さんのアドバイスは、不安を笑顔にしてくれます。腹部エコーでご対面、心音も聞かせていただきました。ここが出来て11人が出産たそうです。今朝も一人生まれたようでご主人や小さな兄弟が応援させて無事出産されたそうです。娘が小さいときからいろいろ運動をして実現させましたはやと取り組んできたことが間に合ったという感じです。</p> <p>●奈良民主医療機関連合会新人看護師研修で、大福診療所の歴史を話して欲しいとの要請を受けて、診療所の2階をお借りして3人の新人看護師さんと学習会を行いました</p> <p>●少し早く行って診療所の歴史が書かれた書物に目を通していると、初代所長の小林綾先生の文章が出てきました。医学は病人のためのものという題です。小林先生が医大に紹介した患者さんは、「わし病院ちゆうとこに行ったことないんや」といって診療所で病院に練習していたというエピソードに象徴されるように当時の人々にとって医療や病院は遠いものだったことが伺えます。大福診療所は私が初めて就職した思い出深い診療所。当時のことが偲ばれます医療の原点を覚えてもらいました。母につきそった体験から患者者にとって真夜中のナースの足音がどんなに安心できるかという話をさせていただきました。若い人たちのどれくらい伝わったかわかりませんが、懇談の中で、看護師を辞めたいと思ったときを聞いたら、初めての患者さんがなくなって亡くなる人が続いたとき。まだ知識が足りなくて検査の数値が意味するものがすぐに分らない、先輩はちゃんとしていて、患者さんを廻るのに人手が足りないで具ワイの悪い人を先にしていくと全て廻るのに1時間半も2時間もかかってしまいもういいといわれたとき、などなど、10年たつて病院の中心になっていい看護をもらえることを願っています。</p> <p>●母の病院の支払い。</p>	
10/22	木	☀️	<p>●中南地区常任会議</p> <p>●健生会友の会広陵町支部会議</p> <p>●生活相談 施設入所問題、こそだて安心子ども基金について</p>	
10/21	水	☀️	<p>●四十九日の法要のこをとお寺さんに連絡、ホームページ日記記入、決算委員会の取り上げ事項の整理、自治体キャラバンが県庁前に到着し迎えました。</p> <p>●ハイミールの裁判の判決が12月17日1時15分に確定です。</p> <p>●県議団会議</p> <p>●母の葬儀の関係のお礼</p> <p>●県庁のエレベーターの中で2人の外国人の方と一緒にになりました。屋上の展望大から市内を見渡したようでビューティフルといっていました。お国を聞いたらスコットランドと、アメリカから、つかの間でした。国際交流できました。もっと英語を勉強しておけばよかったと悔やまれます。</p>	
10/20	火	☀️	<p>●母の身の回り品の片付け、死亡に当たった各種手続きなどに追われました。</p>	
10/19	月	☀️	<p>●母の葬儀でした、母の遺言通りできるだけ簡単にしてとのことで関係の方々失礼させていただきました。娘がおばあちゃんに送る言葉を言うてくれました。1歳半と4歳のひ孫が娘の喪服のスカートにしがついての言葉はそれだけで涙を誘いました。</p>	

			<ul style="list-style-type: none"> ●棺に母の好きなものをいっぱいにしていて、ハル君がサザエさんのマンガ本をこれぼくのと出してしまいました又1歳のはなちゃんも母が作った桃の飾り物を取り出してしまいました。ひ孫にやるのなら許してくれるでしょう。素晴らしい晴天で天国に行くことが出来ました。リムジンの霊柩車で火葬場までいきましたがハル君は大きな見たこともない車に乗って大喜びでした。 ●父の兄で静岡で平和運動をしている88歳の叔父が来てくれたので夜は叔父に昔の話を聞かせてもらいました。
10/18	日		<ul style="list-style-type: none"> ●お通夜でいなかから親戚の人が出てきてくれました。孫達はおばあちゃんが死んだということが良くわからなくてチナッチャンはおばちゃん、きのうちんで今日のもちんでるといって顔を見ていました。お兄ちゃんは少しわかっていました。 ●子どもたちが思い出の写真を受付に飾ってくれて母を偲ぶことができました。
ページトップへ			
10/17	土		<ul style="list-style-type: none"> ●昨夜から母のそばに付き添いました。明け方眠るように息を引き取りました。もう治療はいいといったので主治医の先生も自然に送って下さいました。最後の場面で機械の電波を見て送ることがありますが今回は全くそのようなこともなく母の顔をしっかりと見届けました。息をする感覚がだんだん伸びていって大きくすったかと思うと動かなくなりました。8時10分ぐらいでした。家族がそろってから確認とのこと9時37分に死亡。病院から出る前に天理教の方がお祈りして下さいました。主治医の先生は母のことを最近まれに見る日本人で潔く、我慢と甘えるところをわきまえておられました。また看護師長さんは高橋さくさんには私たちのほうがいろいろ学ばせていただきましたと、言葉を頂きお世話になった方々に見送っていただきました。私は最後まで人間の尊厳を守ってみていただけたことを本当に喜んでますと御礼を言ってきました ●これだけでも葬儀の式などいらないようにさえ思いました。 ●母の遺言どおり家族で簡単にしてくれとのこと、近くの会場にお願いしていましたのでそちらにつれて帰りました。
10/16	金		<ul style="list-style-type: none"> ●決算委員会最終日、総括質問。ハイミール問題、公契約条例を取り上げました。一般会計決算に反対、病院と水道は賛成しました。他の会派は、全ての決算に賛成でした。 ●病院から母が来て欲しいという連絡が2回入りましたが3時ごろ駆けつけました。母は、自分の最後がわかってきたようで、写真は、きるものは、葬式はと私に聞くので、この間ハーサルしてから全部準備できたから心配ないよといってあげました。みんなにお世話になったから有難うといって、みんなで仲良く暮らしてと言いつつ残していきなさい。弟が来てくれ家に帰りましたが、主治医の先生から「検査の結果が悪いので危ない状態、万のときは以前お話ししたように無理なことをせず行こうと思います」と電話を頂き、病院で一晩付き添いさせてもらいました。 ●真夜中の病院はいろいろな音がします。看護師さんの足音がどんなに心強い実感しました。あしのいたみ体のだるさなど訴えるのでさすったりあたまを冷したり、少しうとうとするので私も横になるとすぐ手でベッドの柵をたたいて起こします。看護師さんは少しのことでもすぐ連絡してくださいといっている顔ひとつせず看護してくれました。血圧を測って私に説明してくれて今どんな状態にあるかを聞いていたのでもう永くないことはわかっていました。
10/15	木		<ul style="list-style-type: none"> ●福祉部、後期高齢者医療の短期保険証の状況 10月1日現在で545人であることがわかりました。後期高齢者医療制度の廃止を求めました。 ●新型インフルエンザの資格資格証や窓口留め置き世帯が9990世帯2万人に保険証がない常態、一般質問の回答では窓口に行けば渡すといっていたが窓口では厳しい納入を迫られ行くに行けない、又急な場合に実態に合わない。送付すべきです、と質問しました。 ●福祉の町づくり条例 現在鉄道駅周辺に特化されているが以前のようにもっと幅広く使える制度にすべき 検討していくとのこと。 ●人権啓発、「県は4億もかけているが一人一人の基本的な人権の確立が重要で、差別する側される側に特化したような啓発はやめるべき」と主張。県は「差別はしない、差別はいけないとの切り口に終始することなく啓発推進に努めていきたい」と答弁。 ●教育、養護学校の知的障害の児童が急増、「西和養護も2年前に145名から208名になっている今後どうするのか、保健室の先生が1人では大変と聞いている、夜は遅い朝ごはんは食べないストレスいっぱいであるが保健室に持ち込まれ一人一人に耳を傾けて相談しないといけない、今ならインフルエンザの対応に追われている、病室や怪我では、受診させるかどうかの判断を迫られる事業を受け持ったり、修学旅行の付き添いなど複数化を求めると主張。県は「定数増を国に働き変えていきたい」と答弁。「県独自で行うべき」と重ねて追及しました。 ●中小企業高度化資金、ハイミールの理事長の自宅を購入したのが国の中小企業高度化の支援アドバイザー、21年度の派遣事業の手引きではアドバイザーで記者に損害が生じた場合中小企業基盤整備機構はその責をおわないとしている。更に故意または重大な過失があるとする場合を除いて企業連携支援アドバイザーはその責を一切負わないとしている。「故意または重大な過失があった」というような対応になっているのではないのか貸し付けに問題はなかったか」と質問。 ●商工会の補助12億円人件費230人、この人はどのような対場なのか。商工会連合会の正規職員、正規雇用との事。 ●高田地場産業振興センターの会場の使用が議会報告開催では許可されなかった問題は改善すべき、と主張。
10/14	水		<ul style="list-style-type: none"> ●地域振興部。「大滝ダムこのままでは水あまりになり毎秒3.5立方メートルでは今の使用量以上の水が増える。不要な水は買う必要はないと思う、国に求めることは出来ないのか、奈良県の水需給計画を見直すべきではないのか」と質問。「見直し作業を現在始めている」との事 ●平城遷都1300年、「これまでいくらかかったのか、奈良市から20億、民間からの20億円の予算は幾ら入ったのか。予定より少ないときには規模の縮小は考えないのか」と質問。「平成17年5月から平成20年度まで12億8300万円、そのうち奈良市の負担は3億9800円、民間の寄付は8月末で8億9000万円、200社に働きかけた。集めるつもり、事業規模の縮小は考えていない」との答弁でした。 ●光明皇后プロジェクト。北欧では福祉施設どこに言ってもハンがあっても食べていいことになっている、また市庁舎で市長や議員が立会人で結婚式が上げられるなどがあった。また低額無料診療をもっと広げるなど。困った人が奈良に行けば救われるような取り組みを要望しました。 ●市町村振興、御所市と上牧が早期健全化団体になった。県としても必要な支援をしてほしいと質問。県は「15億円の無利子貸付を立てた。これを使って高金利の地方債の借り換えを進めるなど地元とよく協議して進めていきたい」と答弁。 ●病院、「県立3病院医大の不適切な会計処理が行われたがどのようなその後改善されたのか」と質問。未集金の実態は 2億9000万。「どことも同じ悩みを抱えており県かに病院の未集金問題の改善策を検討する場を設けるべきではないのか、個別の相談に細かくのって信頼を築くことが大事その上で必要な減免や各種手続きなどをすべきではないか」と質問しました。 ●医大病院の専門の医療ソーシャルワーカーが配置されました。五条病院の産婦人科復活のめど・医大の移転問題 「中南和の人は県が切り棄てたように受け止めているのでこの問題は慎重に行うべき、今困っていることに手を差し伸べるべき。県立なら病院の院内保育者の保母さん、24時間保育の予算をつけてもらったが週1日しか出ていない。人を見つけて2日間の保育を専ら湯したらもっと働きやすくなる。」と主張しました。
10/13	火		<ul style="list-style-type: none"> ●決算委員会歳入、総務、平城遷都1300年、土木部、水道局の審査を行いました。歳入面では個人県民税が29億の滞納。収入が変わらないのに税率だけ引き上げても滞納が増えるだけ、払えない場合の減免はどれくらいあるのかあとで数字を聞きたい、33万円と極わずかしか対応されていないことがわかりました。 ●平成19年に葛城税務署で大阪のティグレからお金をもらって税金を安くしてやったことで上席調

			<p>査官が逮捕された事件があったが、減免の特別な事情に特定の商工団体からの紹介は減免するようにはないかと質問。県は「ない」と答えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●県が滞納整理室を設けて市町村とともにやっている問題では、税の徴収は自治体固有の義務であるが整理室にその権限はあるのかと質問。県は、「市町村とともに行うので問題ない」と答弁しました。 ●総務では人件費の削減が行われ実際には指定管理者制度や委託になって物件費の扱いがされている。埼玉のプール事故はふじみの市が民間にプール管理を委託し、それが更に下請けに丸投げされ最も安い高校生のバイトが当日監視していた事実を指摘しました。プールのふたが外れていると当日持ってきた人があるがその意味するものがわからなかった。公契約条例を設けてしっかり実態をつかむようにすべきだ、安かろう悪かろうではいけない、と討論しました。 ●広域消防について。広域的に対応しないといけない案件がふえているので本件でも薦めるとの説明がありましたので、「広域対応が必要な案件がどれくらいあったか」と質問。「幸い本県にはありませんでした」との答弁でした。私が尋ねているのは「救急車や火災のときに早く来て欲しいというのが住民の願い、国がやるから薦めるのか」と質問。県でも消防車が出計らったとき他の消防車が応援したなどの事例がありました。 ●土木では低入札価格の対応について質問。 ●公共交通活性化協議会の進捗。 ●水道では大滝ダム完成時の負担増について質問、9億から10億の負担増とのこと、現在の黒字で当分値上げが必要ないとの事。 ●警察は交通違反金について質問、年間7億ほどで国に入る更に県に入るのは3億ほどですが滞納が30000万もあることが判明。民間に委任して取り締まっていますがヘルパーさんなど少しの時間で駐車違反されるなど納得しない事が滞納になっているのではないかと意見を言っておきました。 	
10/12	月		<ul style="list-style-type: none"> ●田舎から母の兄弟と従兄弟たちが9人でお見舞いに来てくれました。母の大好きなくちなしで色付けした大豆が入った黄色いおこわを炊いてきてくれました、今一番欲しいのはあの世ゆきの切符といってしっかり対応していました。 ●決算委員会の準備 	
10/11	日		<ul style="list-style-type: none"> ●広陵町民運動会の予定でしたが、インフルエンザのため中止 ●母のお見舞い 	
ページトップへ				
10/10	土		<ul style="list-style-type: none"> ●孫の運動会の予定でしたがインフルエンザのため中止 ●五条演説会。大谷市会議員が議会報告を行いました。私もお話させていただきました。 	
10/9	金		<ul style="list-style-type: none"> ●県議会最終日。各派代表者会議でがん対策条例の施行日を確認したところ、本日の本会議終了後となることと10月10日のがんと向き合う日について県民に知らせる必要があるのではないかと提起、議長がマスコミに伝えることを確認しました。 ●議会運営委員会 ●図書室委員会 ●議会本会議で、自民・民主・共産・自民改革の4会派が討論に立ちました。民主は、補正予算に反対、理由は介護労働の労働条件改善の基金は本質的な解決にならない。大門ダムは当面中止すべきなど。自民と自民改革派全議案賛成で討論、共産党は山村議員が補正予算のウエルカムゲート2億円は無駄、もっと農業労働者に新規採用の所得保障など有効に活用すべき、ダムは、他の方法では対応が出来ず地元の治水対策にも有効であると賛成討論。議会が少しずつ議会らしくなってきました。 ●決算委員会の打ち合わせ ●母のお見舞い 	
10/8	木		<ul style="list-style-type: none"> ●母のお見舞い。 ●台風のため20億の裁判が中止になりました。水道局から説明を受けました。 ●要求懇談会に山下よしき、宮本タケシ議員を迎えて民主団体、地方議員との懇談会が開催されました。現場の切実な思いや実態をうかがうことが出来ました。 ●県議団会議。 	
10/7	水		<ul style="list-style-type: none"> ●川上村で議員研修会 ●同和事業の終結に向けての実態調査、官製ワーキングプアなど学習しました。 <p>台風が接近していて、急いで帰宅しました。</p>	
10/6	火		<ul style="list-style-type: none"> ●明け方4時ごろに病院から電話、母が急変したとのこと。ちょうど仕事をするのでおきてきたときでタイミングよく電話。急いで病院に、ちょうど循環器の先生も応援に来ていただき、何とか元気になりました。三途の川が見えた？と聞いたなら見たような見なかったようなと言っていました。[先生を起こして悪かったねえ、とか看護師さんに迷惑かけたねとか、私にもう帰ってもいい]といろいろ気を使っていました。 ●どこに連絡をしようかとか、いろいろなことが頭をよぎります。今回はリハーサルのような体験でした。 	
10/5	月		<ul style="list-style-type: none"> ●人事院勧告で公務員の給与の引き下げが勧告、担当課より説明を受けました。 ●保健室の先生の実態をうかがいました。 ●教員の定数ない講師の実態についてお話を聞きました。 ●決算委員会の調査 	
10/4	日		<p>晴天真夏日のようでした。</p> <p>孫の運動会、京都までいってきました。1歳のハナちゃんは何をするのか楽しみでしたがよちよち歩いてゴールイン。ももちゃんは障害物競走で1等賞</p> <p>一緒に連れて行った3歳の孫が迷子になって放送が流れミンミンちゃんという3歳の子供さんを職員室で預かっていますとほうそう、あれ、名前が違うけどうちの子だと思って要ったら私の顔を見て大泣きでした。</p> <p>電車で一足先に帰ってきました、鍵や姫祭りを除きに行ってお弁当をかってお昼ご飯に。今日は運動会が多くてかぐや姫祭りの人手がいつもより少ない感じでした</p> <p>葛城市の白石栄一議員の事務所開き。8日目挑戦になります。挨拶させていただきました</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活相談・・・救急車で天理まで運ばれて夜中に帰りにタクシーを使った代金を生活保護で見てもらえるかとのこと、調査を約束。 <p>母のお見舞い、ずっと外にでていないので車椅子で散歩に。天気がよく風邪もあつてさわやかな日和でした、30分くらいでしたが今日はいい日だったと喜んでくれました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●赤旗の集金 ●子供の貧困の特集を見ました。最近このような今まで少しは触れていた問題が真正面から取り上げられるようになってきました。 	
ページトップへ				
10/3	土		<p>運動会中止の連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新聞の集金、革新懇の全国交流集会の案内 日刊紙1部。 ●ホスピス勉強会、野の花診療所の徳永進先生の講演を聞きました。 	

		 <p>とてもユーモアがあって、スッカリ話にひきつけられました。高校2年生のとき命とは何かに興味があって、授業を抜けて大学まで講演を聞きに行ったら石炭だといわれ納得できなかったけれどそれがきっかけ医者になったとのこと。 人は一人一人皆違う死を迎える。でも死の直前に言うことは、食べ物家族、景色自然などで、地位や名誉、お金などという人はあまりいないということ。 がんの告知もそれぞれ、野の花診療所で最後を看取った人の写真を映し出し、医師も看護師も愛情を持って患者さんに接していると感じました。患者さんというより一人の人間として向き合っています。死は無限の半分で終わりの終わりは始まりの始まり。 インデアンは死ぬとき今日はお天気もいい家族もいる、今日は死に日よりという先生が読んでくれた「てんしさん」という看護師さんが一番思い出に残った患者さんのことを短い言葉でつづった詩を読んでくれました。 母のお世話をしてくれている看護師さんたちと重なって涙が流れました。</p> <p>病院にお見舞い 決算委員会の準備</p>	
10/2	金	 <p>今日から予算委員会 山村議員が大奮闘です。 ●20億の調査 ●中野議員と決算委員会の打ち合わせ ●地域医療等対策協議会を傍聴 国に対して予算を獲得するための県の再生プランの説明でした。 会場からは医師派遣という言葉に対し、医大の役割。単なる労働力ではなく研修研究の意味があること、などさまざまな意見が出ました。</p> <p>母の介護認定の調査、ほとんど介護がひつようなのに、歩行器で歩ける、食事も出来ると口で頑張っているのを聞いて部屋の人が出来ないことは出来ないといわないとだめといってくれました。10月31日まで介護認定基準が変更しましたが、以前より厳しい結果となることが多いので前の認定をそのまま使えるように選べるようになっているとのことです。 ●県庁に戻って仕事をかたづけました。 ●革新懇についての北葛会議</p>	
10/1	木	 <p>●奈良県腎臓疾患患者会の方が身体障害者手帳の基準緩和の要請に来られました。 ●議会運営委員会 ●一般質問、今議会最後の一般質問に当たりました。 官製ワーキングプア、新型インフルエンザ、ごみ処理広域化計画、地域福祉支援計画、天理王寺線、選挙制度、中小企業高度化資金を取り上げました。 ワーキングプアについては公共工事の下請けなど抜き打ち検査を実施して公契約条例も検討すると前向きな答弁でした。</p> <p>●がん対策条例が全会一致で可決されました ●厚生委員会で請願審査。人工透析のp障害認定の見直しは全会一致で可決</p> <p>医大の実験動物の飼育にかかる委託契約についての調査報告が行われました。 結論としては偽装請負ではないということでした。責任者が指示をしているということですが質問したらフロアは6つあって責任者は一人です。又委託費の明細は人件費ということでした。</p>	